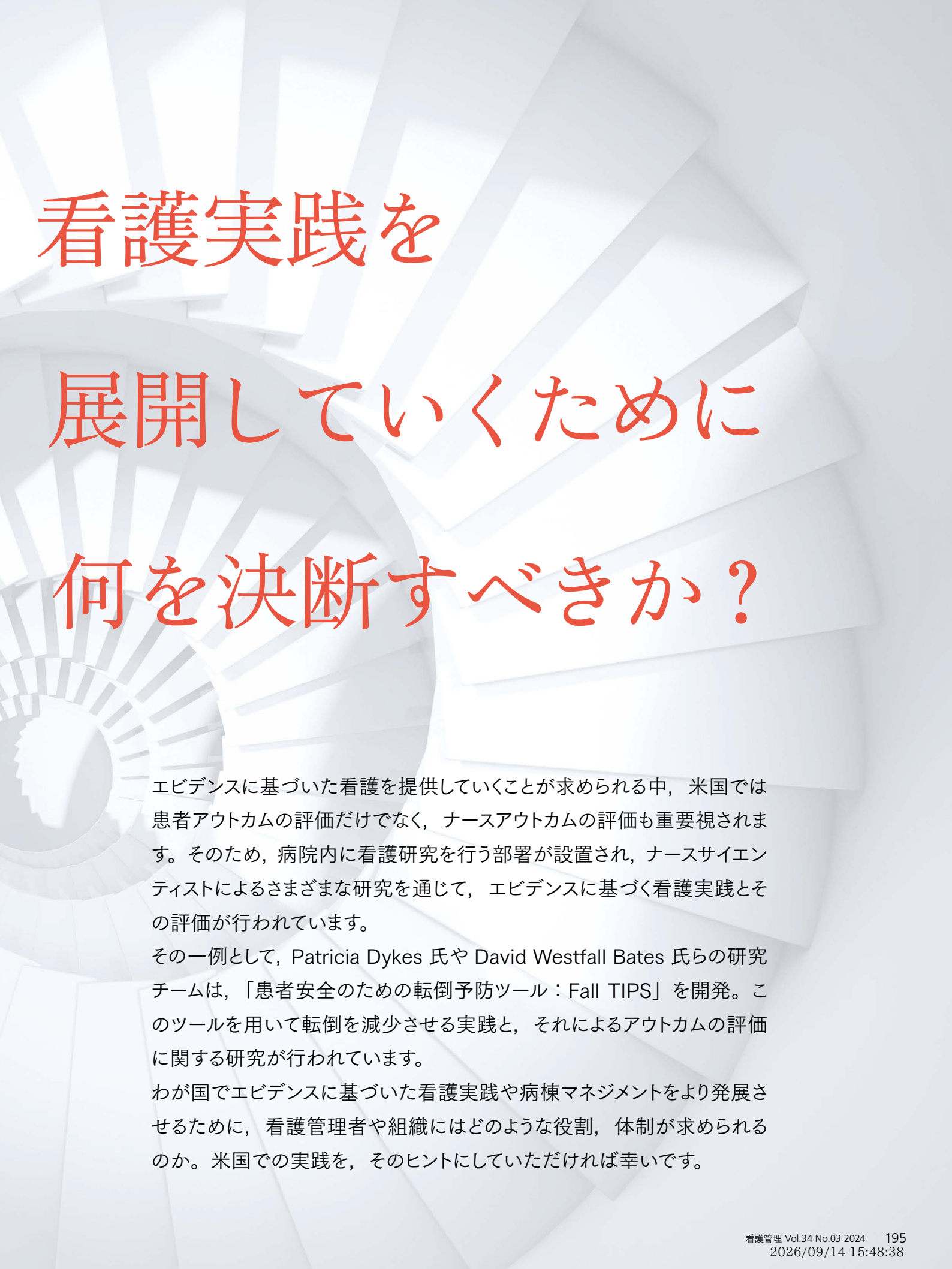


特集

エビデンスに基づく 病棟で 看護管理者は何を知り、 米国のナースサイエンティストから学ぶ



看護実践を

展開していくために

何を決断すべきか？

エビデンスに基づいた看護を提供していくことが求められる中，米国では患者アウトカムの評価だけでなく，ナースアウトカムの評価も重要視されます。そのため，病院内に看護研究を行う部署が設置され，ナースサイエンティストによるさまざまな研究を通じて，エビデンスに基づく看護実践とその評価が行われています。

その一例として，Patricia Dykes 氏や David Westfall Bates 氏らの研究チームは，「患者安全のための転倒予防ツール：Fall TIPS」を開発。このツールを用いて転倒を減少させる実践と，それによるアウトカムの評価に関する研究が行われています。

わが国でエビデンスに基づいた看護実践や病棟マネジメントをより発展させるために，看護管理者や組織にはどのような役割，体制が求められるのか。米国での実践を，そのヒントにしていいただければ幸いです。